

目指す学校像	生徒一人ひとりの「よさ」を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させ、自ら考え、判断し、表現する力につなげる 2 生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる 3 積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局（教職員）	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】授業に真剣に取り組み理解している生徒が増加し、進路実現に向けて目的意識を持って、意欲的に学校生活を送っている。</p> <p>【課題】授業の振り返りや個別指導、ICT活用、AL等により学習活動の充実を図っているが、基礎学力の定着には繰り返しが必要であり、さらに実践力に結び付けるにはまだ不十分である。目に見える形として、目標を高く持ち資格検定を受験・合格する生徒を増やすことで自信を持たせる。</p>	<p>○基礎学力を定着させる授業実践と授業研究を行い教員の指導力を向上させる。</p> <p>○朝学習、通常補習や長期休業補習の講座へ、参加者を増やし内容を充実する。</p> <p>○多様な進路希望の実現に向けて、一人ひとりに適した進路指導を行い、資格取得に向け目標を設定させ計画的な学習を支援する。</p>	<p>①基礎力テストを活用し生徒の学力を把握し教職員研修を実施する。学力向上の目標値を掲げて伸ばす指導、授業改善を行う。</p> <p>②知識の抜け落ちがないよう、基礎固めの補習を実施し、学習に向かう雰囲気作りを行う。実力増進講座、社会体験学習、授業公開等、質の高い効果的な取組を計画実施する。</p> <p>③三年間を見通し早い時期から進路指導を行う。基礎学力の定着に努め小論文や面接に対応できるよう幅広い知識を身に付けさせる。</p>	<p>①「授業が理解できているか」という生徒の割合90%以上。</p> <p>②補習へ参加する生徒の人数を昨年度よりも増加させる。また、欠点を取る生徒は減少したか。</p> <p>③年間で資格テスト受験率一人1つ以上を目指し、生徒の個々の受験の割合30%以上。また、合格者数を上げる。</p>			
2	<p>【現状】生徒の多くは校則を遵守し落ち着いた生活を送っているが、未だ意志が弱く自己管理を徹底することができない生徒もみられる。</p> <p>【課題】生徒一人ひとりの資質を理解し人権に配慮し、家庭と連携し個に応じた指導と社会で認められる人材を育成する。また、春日部特別支援学校宮代分校との合同行事をさらに活発にし、本校生徒及び保護者のインクルーシブ教育への理解を深める。</p>	<p>○家庭と連携し、学年・生徒指導等情報を共有して、個の特性に応じたきめ細かな指導を徹底する。</p> <p>○充実した学校生活を目指し、魅力ある学校づくりを実践する。また、教育相談を充実させる。</p> <p>○インクルーシブ教育を充実させ、共生できる学校づくりを行う。</p>	<p>①時間を守る意識をSHRや集会で呼びかけ、生活習慣を確立し落ち着いた学校生活を送れるよう支援していく。長欠と欠席者について教務上のサポートや保健関係の講演会を実施する。</p> <p>②目的を持って部活動に参加できるよう内容を工夫し80%以上加入を維持する。</p> <p>③進路行事に加え、一人一人の進路への理解を深める面談を行う。また、探究活動に加え、社会体験やボランティア活動を増やす。</p>	<p>①遅刻・欠席・早退者、生徒指導の件数を減少させる。</p> <p>②部活動への参加者を増やす。また、教育相談は有効であったか。</p> <p>③人間性向上に役立つインクルーシブ教育を充実させ、講演会や分校との連携事業を、定期的に実施する。</p>			
3	<p>【現状】生徒会や部活動を中心に、地域（宮代町、町教委、自治会、商工会）交流や異校種交流事業を行い、豊かな人間性と社会性を育成する機会を持つことができている。</p> <p>【課題】様々な手段や機会を用いて、本校の教育活動や生徒の活躍を広報する。PTAや地元機関とさらに連携して、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>○学校内外の教育資源、地域資源を活用した交流事業や春日部特別支援学校宮代分校との合同行事を増やし、継続する。</p> <p>○保護者や中学生に魅力ある情報発信をし、入学希望者数の増加につなげる。</p>	<p>①生徒会や部活動で地域交流活動に参加し、生徒の活躍を積極的に広くPRし、自信と意欲を持たせる。地域から信頼される学校づくりを実践する。</p> <p>②HPは本校生徒・保護者の活用を増やし、学校への興味関心を引き付ける。電子掲示板による情報提供で活動しやすくし、校内活性化、明るい学校にする。</p>	<p>①近隣小中学校等との連携活動、地域交流や地域貢献活動等、生徒の活躍の場と機会を増やす。</p> <p>②HPは、学校行事や学年の取組、部活動等、内容を充実させる。生徒・保護者連絡は効果的に適宜発信する。関係諸機関との連携を大切にする。</p>			

実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	